（表中敬称略）

会議名	実務家教員育成研修プログラム開発部会（令和２年度第２回）		
日　時	令和３年３月１１日（木）１３時３０分～１５時		
場　所	オンライン（Zoom ミーティング）		
出席者			
カテゴリ	所属（学校等・部門・部署）	役職	氏名
連携企業	一般社団法人近畿建設協会	部長	先本　勉
連携企業 部会長	一般社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部	参与（建コン協近畿）	田底　成智
連携企業	西日本高速道路株式会社	関西支社　構造担当部長	佐溝　純一
連携企業	西日本高速道路株式会社	技術研修担当課長（茨木技術研修センター長）	福冨　章
連携校	福井工業高等専門学校	助教	樋口　直也
連携校	福井工業高等専門学校	嘱託教授	阿部　孝弘
代表校 副部会長	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	玉田　和也
連携校	香川高等専門学校	准教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	林　和彦
協力校	国立大学法人長岡技術科学大学	教授	岩崎　英治
連携校	放送大学学園	課長補佐，社会連携コーディネーター	東海林 壽朗
連携校	福島工業高等専門学校	特命助教	浅野　貴元
連携校	長岡工業高等専門学校	助教	白井　一義
連携校	長岡工業高等専門学校	特命助教	丸山　聡
連携校	福井工業高等専門学校	特命助教	宮川　清剛
代表校	舞鶴工業高等専門学校	特命准教授	嶋田　知子
代表校	舞鶴工業高等専門学校	特命助教	掛　園恵
連携校	香川高等専門学校	助教・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長	入江　正樹

議事次第

１．はじめに　　舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授　玉田 和也

２．部会長挨拶　　（一社）建設コンサルタンツ協会近畿支部　参与　田底 成智 様

３．実務家教員育成研修プログラムの概要について（審議）
・実務家教員育成研修プログラム パンフレット（案）　……　資料１
・実務家教員育成研修プログラム シラバス（案）　……　資料２

４．実務家教員育成研修プログラムの受講者の推薦について（審議）
・実務家教員育成研修プログラム（2021 年度実証講座）受講者募集要項（案）……　資料３

５．まとめ

６．その他（今後の予定，事務連絡等）
・令和３年３月１１日（木）10:00～11:30　@オンライン
　　リカレント教育プログラム開発部会（令和２年度第２回）
・令和３年３月１２日（金）10:30～12:00　@対面・オンライン併用
　　人材育成・活用システム設計部会（令和２年度第１回）
・令和３年３月１２日（金）13:30～15:30　@対面・オンライン併用
　　ＲＥＩＭ産学連携コンソーシアム合同会議（令和２年度第３回）
・令和３年３月１８日（木）14:30～17:00　@対面・オンライン併用予定
　　外部評価：社会基盤メンテナンス技術レベル検討委員会（令和２年度第５回）
・令和３年３月２０日（土・祝）10:00～17:00　@オンライン
　　大学改革を担う実務家教員フェア２０２１（第２回）
・令和３年３月２３日（火）13:30～16:30　@舞鶴高専
　　京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会（令和２年度第１回）
・令和３年５月頃予定
　　ＲＥＩＭ産学連携コンソーシアム合同会議及び各部会@対面・オンライン

以上

写真１　田底 部会長挨拶

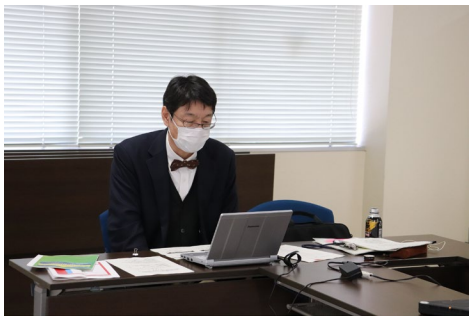

写真２ 玉田副部会長挨拶

写真３　オンライン参加者

写真４　会場風景

実務家教員育成プログラム開発部会（第２回）　議事録

日時：令和３年３月１１日（木）13:00～15:00
場所：オンライン（Zoom ミーティング）

１．はじめに　　舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授　玉田 和也

２．部会長挨拶　　（一社）建設コンサルタンツ協会近畿支部　参与　田底　成智　様

３．実務家教員育成研修プログラムの概要について（審議）

- ✓ 当該プログラム受講の前提となる“技術士又は技術士に相当する資格”については，“相当する資格”を幅広に考え，資質があれば受講できるよう検討する。
- ✓ 受講期間は，年度末に絡むと受講しにくいため，受講者ニーズを踏まえて設定すべき。1 ヵ月程度早めることも検討されたい。
- ✓ 約８ヵ月と長期に渡るプログラムのため，欠席者に対するフォローも必要である。
- ✓ 修了者の称号『専門教士（建設部門）』（仮称）については，引き続き議論する。

４．実務家教員育成研修プログラムの受講者の推薦について（審議）

- ✓ 称号の認定は，国立高等専門学校機構が行う方向で検討を進める。
- ✓ 認定者は，高専のリカレント教育以外にも，多様な活躍・就労の場があるとよい。
- ✓ 2021～2023 年度の３ヵ年で３０人の実務家教員の育成を目標とする。
- ✓ 受講者の負担軽減のため，本講座開講に向けて，オンライン受講，前期・後期の分割受講，厚労省の給付金対応等も検討する。
- ✓ 募集要項の内容が厳しく，実際には，志を持った技術者でないとプログラムに耐えられないため，いかにして人材を発掘するか考えていく必要がある。
- ✓ 各高専及び REIM 連携企業は，受講者の推薦について積極的に検討する。

５．まとめ

- ✓合同会議にて，田底部会長より部会報告を行う．

６．その他（今後の予定，事務連絡等）

以上